



翠清会梶川病院

翠清会ニュース



日本医療機能
評価機構認定施設

医療法人
翠清会

2019
夏号
No.219号

職員撮影 風景 角島

今号の内容

- 脳神経内科のご紹介
- プリランテ Early Summer コンサート
- 学術活動 4月～6月
- 頭痛について
- 新人挨拶
- 看護部通信
- 第60回 日本神経学会学術大会に参加しました

☎ 当院ではWiFi無料インターネット接続サービスがご利用いただけます。ご希望の方は受付までお問い合わせください。

脳神経内科のご紹介

脳神経内科部長 今村栄次

神経内科という科をご存知でしょうか。とは言っても全国的に神経内科は脳神経内科という名前に変わってきています。2017年に日本神経学会で標榜診療科名を「神経内科」から「脳神経内科」に変更することが決定されたからです。名称変更の理由の一つは、私共の実践している診療内容をよりよく一般の方々にご理解いただくためです。精神科や心療内科と脳神経内科を混同されていることがあります。精神科は、おもに気分の変化（うつ病や躁病）、精神的な問題を扱う科です。また、心療内科は精神的な問題がもとで体に異常をきたしたような病気を扱う科です。一方脳神経内科はこれらの科と異なり、精神的な問題からではなく、脳や脊髄、神経、筋肉に病気があり、体が不自由になる病気を扱います。

脳神経内科が扱う主な症状は、身体の脱力、ろれつが回らない、見えにくい、歩行のふらつき、めまい、意識障害、頭痛、けいれん、物忘れ、ふるえ・かつてに手足や体が動いてしまう、しびれや痛みなどです。脳神経内科が扱う代表的な4つの病気は、脳卒中、認知症、てんかん、頭痛で、その他パーキンソン病、髄膜炎・脳炎、多発性硬化症、末梢神経や筋肉の病気など多彩です。

梶川病院では主に脳神経内科と脳神経外科の診療をおこなっており、脳卒中（脳梗塞・脳出血・くも膜下出血）あるいは脳血管障害（頸動脈狭窄症・未破裂脳動脈瘤・脳動脈解離など）の患者さんが最も多いです。以前（脳）神経内科は手術の対象とならない病気を担当していました。しかし、最近は超急性期脳血管閉塞や頸動脈狭窄症に対するカテーテル治療などで、脳神経内科と脳神経外科が協力して一人の患者さんの治療にあたるが増えています。当院では毎日脳神経内科と脳神経外科が合同カンファレンスを行い、診療にあたっています。



参考文献 日本神経学会ホームページ

頭痛について

脳神経内科医長 松島勇人

頭痛で悩まされたことはありますか。程度の違いはあるとしても頭痛を経験したことが無い人の方が少ないと思います。外来を受診される患者さんの主訴の中でも頭痛はかなり頻度が高いものです。今回はどんな種類の頭痛があるのか、またどんな頭痛が危険なのかを紹介させていただきます。



まず頭痛は大きく「一次性頭痛」と「二次性頭痛」の二つに分けることができます。一次性頭痛とは簡単に言うと何か悪い病気によって起こっているものではない頭痛のことです。世の中の頭痛で最も多いのは筋肉の緊張から来る「緊張型頭痛」です。特徴としては、頭全体や前頭部、後頭部が締め付けられるように痛みます。「片頭痛」も比較的頻度が高い頭痛です。頭の中の血管が収縮したり拡張したりすることによって起こります。典型的には頭の片側が脈に合わせてズキンズキンと痛みます。前兆として視野の一部が光って見えにくくなる閃輝暗転を伴う場合もあります。また、市販の頭痛薬や病院で処方された頭痛薬でも週に2-3日以上服用している場合は「薬物乱用性頭痛」も考えられます。頭痛のために飲む薬が逆に頭痛の原因となっている状態です。

一方、二次性頭痛は悪い病気に伴う危険な頭痛です。最も注意が必要で命の危険に直結するものとして「くも膜下出血」が挙げられます。今まで経験したことのない様な痛みが、ある瞬間に突然襲ってきます。よく言われている表現として、「突然バットで殴られたような頭痛」または「突然雷に打たれたような頭痛」等があります。救急車ですぐに来院する必要があります。外来には頭痛で脳梗塞が心配と来院される方もおられますが、基本的にはくも膜下出血以外の脳卒中である脳梗塞と脳出血は頭痛が主訴になることは稀です。しかし、脳動脈解離と言って血管が内部で裂けることが原因となる脳梗塞もあります。日本人では首の後ろの方を走る血管で起きやすく、首の後ろから後頭部にかけて鈍い痛みが続く場合があります。

頭痛には上記の物以外にも様々なものがあります。二次性頭痛はもちろん一次性頭痛に関しても症状が強い場合は一度外来を受診されることをお勧めします。

SCU (Stroke Care Unit の略) とは、脳卒中 (脳梗塞・脳出血・くも膜下出血) 急性期の患者さんを専門医療スタッフがチームを組んで治療を行う、脳卒中専門の集中治療室で、当院では 2008 年から SCU の運営を開始しています。

SCU では脳卒中専門医の治療のほか、3:1 看護配置での看護師による濃厚な看護 (昼夜ともに患者さん3名に対し看護師1名配置)、リハビリ担当者 (理学療法士・作業療法士・言語療法士) による早期からのリハビリテーションを受けることを可能とし、スタッフ一丸となりより質の高い医療と安心できる入院環境が提供できるよう心がけています。



水分不足にご注意を

暑さが本番を迎えるこれからの時期は、熱中症とともに脳梗塞への注意が必要となってきます。脳梗塞が夏に起こりやすいのは、暑さや湿気で汗をかくことで、体内が水分不足になりやすいことが原因です。汗により体内の水分が大量に出ていくと、血液が濃くなりドロドロの状態になってしまい、流れにくくなることで血管が詰まりやすくなるのです。

<水分不足にならないための予防法>

- ・時間を決めてこまめに水分補給を
喉の渇きを感じなくても、時間を決めて水分を飲みましょう。
- ・就寝前・起床時にはコップ一杯の水分を
睡眠中は水分補給ができないので、寝る前と起きてすぐに水分補給をしましょう。
- ・空調で室温や湿度のコントロールを睡眠中に大量の汗をかくことで、大量の水分が失われるので、適度にエアコンを使用して室温や湿度を調整しましょう。

以上に気をつけながら、暑い季節を過ごしていきましょう。

ブリランテ Early Summer コンサート Vol.2 ～偉大な芸術家の思い出～

この度 (6月15,16日) のブリランテコンサートも大盛況のうちに無事閉幕いたしました。大きなホールでの演奏会とはまた違って、演奏者の息づかいや楽器本来の音の響きをご堪能頂けたのではないかと思います。ご来場いただきました皆様には心より感謝申し上げます。

ブリランテホールは今後も、“hitoto 広島”の一環として、そのコンセプト「人と学び、人と遊ぶ」に役立つべく、様々な分野の学術および文化活動に取り組んで参ります。



新人挨拶

4月より、看護師として脳神経内科病棟で勤務しています。慣れない環境に緊張の日々ですが、諸先輩方にあたたかいご指導を頂き頑張っています。早く一人前となり、患者様が安心して入院生活を送ることができるよう貢献したいと思っております。宜しくお願い致します。

看護部 加茂清子

4月から脳神経外科病棟で勤務しています。

処置や入退院の多い病棟ですが、様々な経験をさせて頂き日々吸収させてもらっています。患者様とご家族に安心してもらい、心に寄り添った看護を提供できるように頑張っていきたいと思っております。よろしくお願い致します。

看護部 池田芽依

4月に MSW として医療福祉相談部に配属されました、川口晴也です。初めての職場でまだまだ右も左もわからず勉強に追われてばかりですが、充実感があり、仕事にやりがいを感じています。1日でも早く皆様のお力になれるよう、努力していく所存です。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

医療福祉相談部 川口晴也

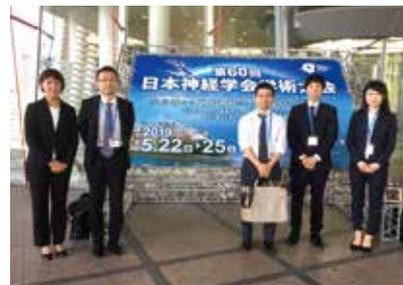
第60回 日本神経学会学術大会に参加しました

リハビリテーション部 上床裕之

令和元年5月22日から25日の4日間、大阪で開催された第60回日本神経学会学術大会に参加し、「急性期脳卒中患者のABMS IIは歩行自立を予測する」という演題でポスター発表をさせて頂きました。

慣れない発表で緊張しましたが、他施設の医師やメディカルスタッフともディスカッション等でき、有意義な時間を過ごすことができました。今回学んだことを臨牀に活かし、患者様に貢献できるよう引き続き精進致します。

ご指導いただきました中森先生をはじめとする諸先生方、リハビリスタッフの皆様、他スタッフの皆様にはご協力頂きまして心より感謝致します。



学術活動 4月～6月

4月27日
広島県臨床検査技師会 総合管理部門(認知領域)研修会
当院の医療安全改革と取り組み～厚生局安全管理勉強会の参加報告～
臨床検査部主任 平田明子

5月18日-19日
第68回日本医学検査学会
チーム医療における脳梗塞超急性期での臨床検査技師の関わり
臨床検査部 小川加菜美

5月22-25日
第60回日本神経学会学術大会
脳卒中急性期患者における嚥下造影検査とスクリーニングテストの比較
脳神経内科医長 中森正博

急性期における日本版SDSAと神経心理学検査との関連
リハビリテーション部 高杉紗織
当院回復期病棟での脳卒中後うつつの背景因子とFIM改善度の検討
看護部 能城広美
急性期脳卒中片麻痺患者のABMSIIは歩行自立を予測する
リハビリテーション部 上床裕之

6月7-8日
第38回日本脳神経超音波学会
高齢者における舌圧と舌エコー tongue thickness の相関
脳神経内科医長 中森正博

医療法人 翠清会 翠清会梶川病院

TEL: 082-249-6411 FAX: 082-244-7190
〒730-0053 広島市中区東千田町1丁目1-23
<http://www.suiseikai.jp>

《病院理念》

Patient First 「患者さん第一」
ファースト・オピニオン(First Opinion)を提示でき、
セカンド・オピニオン(Second Opinion)を求められる病院に!

《基本方針》

- 1 脳の専門病院として24時間、常に質の高い医療を提供します。
- 2 患者さんの権利を尊重します。
- 3 患者さんの安全と安心を確保し、医療事故の予防と対策に努めます。
- 4 急性期から慢性期、在宅までの地域の関連機関と連携を強化します。
- 5 翠清会の職員である誇りを持ち、プロとしての実力を高め、チーム医療に貢献します。

